

# 栃木東中「東中だより」4月号



【学校教育目標】＜生きる力の育成＞

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 豊かな心と強い意志をもった生徒
- 健康で、自他の生命を大切にする生徒

【目指す学校像】＜経営の指針＞

竹のように、誰もが“いちずに天を目ざす”東筍学舎

【目指す生徒像】＜東筍の心得＞

- さわやかで、明るいあいさつができ、仲良く活動する。
- 忍耐強く、黙って清掃や作業に取り組む
- 目的をもって、いちずに学習・運動に励む
- 気品があり、場に応じた正しい言葉遣いができる。

平成26年 4月21日 発行 文責：石嶋和夫

## 平成25年度の職員組織

H26. 4. 8現在

No	氏 名	担任等〔教科・担当〕及び【部活動】
1	石嶋 和夫	校長〔学校経営〕
2	神澤 享	教頭〔学校経営〕〔保体〕
3	落合 豊	事務長〔事務主任〕
4	鈴木 久雄	教務主任〔理科〕【コンピュータ】
5	安達 昭一	学習指導主任〔数学〕【野球】
6	大和田 昌子	進路指導主事〔美術〕【美術】
7	篠崎 智延	生徒指導主事〔技術〕【女子バスケット】
8	池澤 麻衣子	養護教諭〔保健主事〕【バレーボール】
9	金子 由布子	非常勤主事〔学校事務〕
10	若林 敏和	総括技能員〔環境整備・文書送達〕
11	大木 直子	非常勤事務〔学校図書事務・事務補助〕
12	関和 久美子	1年主任〔国語〕【美術・コンピュータ】
13	岩崎 昌弘	1-1〔数学〕【女子ソフトテニス】
14	大山 洋平	1-2〔社会〕【男子ソフトテニス】
15	佐々木 弘恵	1-3〔英語〕【剣道】
16	元木 あすか	1年副担〔保体〕【男子バスケット】
17	船田 明	2年主任〔社会〕【男子バスケット】
18	松本 卓也	2-1〔理科〕【卓球】
19	山田 まどか	2-2〔音楽〕【女子バスケット】
20	石川 裕子	2-3〔英語〕【女子ソフトテニス】
21	矢口 昭夫	2-4〔数学〕【卓球】
22	渡邊 千尋	学校支援員〔非常勤講師：国語〕
23	渡辺 佳則	3年主任〔英語〕【野球】
24	黒須 周作	2-1〔国語〕【サッカー】
25	森 全美	2-2〔理科〕【男子ソフトテニス】
26	沖 尚将	2-3〔保体〕【野球】
27	北條 伊里子	特別支援学級主任・情緒学級担任〔家庭〕【コンピュータ・美術】
28	板倉 育子	知的学級担任〔保体〕【バレーボール】
29	太田 洋恵	学校支援員〔非常勤指導助手：特別支援〕
30	西郷 園子	スクールカウンセラー〔教育相談〕
31	ダスティン・ケクタ	A L T アメリカ出身

ある研修会で、有名な山本五十六氏の言葉の続きの部分  
を教えてくださいましたので、紹介します。

やって見せ 言って聞かせて させてみて  
ほめてやらねば 人は動かじ

話し合い 耳を傾け 承認し  
任せてやらねば 人は育たず  
やっている 姿を感謝で見守って  
信頼せねば 人は実らず



◎ 本校では、「認めて ほめて 励まして 信じて 待つ  
て 見届ける。」を心掛けています。

## 新たなクルー100名を乗せて“東中丸”出航

4月8日（火）“入学式”を挙行し、100名の新入生が、  
東中の仲間になりました。新入生の皆さんは、中学校生活へ  
の希望と出身小学校の誇りを胸に、とても素晴らしい態度で  
入学式に臨んでいました。



返事も態度も立派でした



小倉正好PTA会長の祝辞



新入生代表：荒川樹里さん



在校生代表：高江柄友乃さん

新入生を心から歓迎しようと、教職員はもちろん、2・3  
年生も一生懸命に“入学式”の準備をしました。3年生が会  
場を設営し、2年生は校内を清掃しました。大きな声で校歌  
を披露しようと、何度も練習しました。

新入生の皆さんは、中学校生活への不安もあるでしょうが、  
後輩思いの素晴らしい先輩たちに、何でも相談してください。

## 1学期のクラス目標を漢字1文字で表すと

4月16日（水）に1学期の学級委員長と副委員長を任命  
しました。クラスのリーダーである二人に、上記の漢字1文  
字を考えてもらい、その理由も発表してもらいました。

学 級	学 級 委 員 長	副 委 員 長	漢 字
1-1	初見 里菜子さん	坂本 悠真 君	挑
1-2	大塚 悠太 君	萩野谷 美南さん	絆
1-3	田中 真音さん	寺内 俊介 君	動
2-1	響田 純花さん	毛塚 勝良 君	耐
2-2	荒井 駿佑 君	安生 桃花さん	友
2-3	菊元 空 君	福富 千瑞さん	優
2-4	谷中 遼太郎 君	森戸 歩花さん	誠
3-1	白石 幸寛 君	林 柚子さん	作
3-2	大川 知樹 君	福田 光紗さん	壁
3-3	初見 香菜子さん	関口 真人 君	最
3-5	熊倉ひかり さん	小林 亨 君	豊

## 学校経営の方針

### “東筭学舎” 経営の4本柱

- ① 校訓「自主・友愛・奉仕」を基調とした校風づくり
- ② 一人一人に「学ぶ力と豊かな心」をはぐくむ授業・学習活動づくり
- ③ 互いの人権を認め、尊重し合う人間関係づくり
- ④ 保護者、地域の人々と共に進める開かれた学校づくり

今年度も、上記を踏まえ、以下の方針に基づき、よりよい学校づくりに努めます。

- 1 本校の伝統である山本有三先生の「竹の教え」を根幹に据え、学習指導要領に基づく教育を推進することにより、生徒が「生きる力」〔確かな学力・豊かな心・健康な体〕を身に付け、個性豊かな人間として成長することを目指す。
- 2 生徒の安心・安全を確保し、自他の人権を尊重する教育を推進して、良好な人間関係づくりに努めるとともに、生徒一人一人の特性を把握し、生徒の実態に応じた特別支援教育を全校体制で推進する。
- 3 学校内外の評価を生かして本校教育の改善・充実を図るとともに、保護者や地域社会、関係機関との連携を強めることにより、地域社会に信頼され、地域社会に生きる学校を目指す。
- 4 総務・人事・財務等の適切な執行に努めることにより教育環境の整備と施設・設備の充実を図る。

### 学校教育目標具現化の方策

#### 「よく考え、自ら学ぶ生徒」の育成

##### 1 基本的な学習態度を育成する。

- (1) 「学習の約束」を徹底し、よりよい学習態度を定着させる。
- (2) 予習・復習等の家庭学習を充実させ、望ましい学習習慣を身に付けさせる。
- (3) 「朝の読書」の徹底と山本有三作品の活用等により読書指導と図書館利用を充実させる。

##### 2 基礎的・基本的な内容の習得を図る。

- (1) 授業のねらいや学習課題を明確に示すことにより、学習への意欲を高める。
- (2) 教材研究を深め、指導の内容と方法を工夫して、「わかる授業」を推進する。
- (3) 事前・事中・事後の評価を適切に実施し、基礎的・基本的な内容の習得を図る。

##### 3 学び合う能力・態度の育成を目指して、「言語活動の充実」を図る。〔3あい運動〕

- (1) 「学び合い」の場を設定したり、ICT機器の活用を図ったりするなど、授業を工夫する。
- (2) 生徒理解を深め、個に応じた学習活動を展開することにより「認めて、ほめて、励ます」指導を推進する
- (3) 問題解決的な学習や体験的な学習を推進し、思考力や表現力等を育成するとともに、コミュニケーション能力を養う。

##### 4 「総合的な学習の時間」「東筭タイム」の充実を図る。

- (1) 探究的な内容構成の工夫や他教科等との関連を図ることにより、学び方やものの考え方を身に付けさせ、課題解決のための諸能力を育成する。
- (2) 地域の調査や職場訪問・体験等の体験的な活動を実施し、それらを分析・まとめ・表現する学習活動を通して、課題に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、キャリア教育の目指す「基礎的・汎用的能力」を育成する。

#### 「豊かな心と強い意志をもった生徒」の育成

##### 1 基本的な生活習慣を育成する。

- (1) あいさつの励行や時間の厳守等の徹底を図ることにより、自律的に行動しようとする態度を育成する。
- (2) 校内のあらゆる場面での言語環境を整え、その場での指導を徹底することにより、場に応じた正しい言葉遣いができるようにする。

##### 2 自律の精神と思いやりの心を育てる。

- (1) 心の教育の要である「道徳の時間」を充実させ、運動会・東中祭・宿泊を伴う行事等との関連を図ることにより、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を養い、道徳の実践力を育成する。
- (2) 人権教育の観点から本校の教育活動を見直し、改善・充実を図ることにより、生徒が互いの「よさ」を認め合い、良好な人間関係が築けるようにする。
- (3) 「無言清掃」を徹底することにより、「我慢・自制・気づき・思いやり」の四つの心を育成する。

##### 3 自主的・実践的な活動を支援する。

- (1) 生徒会活動の組織運営や活動内容を充実させ、「中央議会の活性化」及び「委員会活動の日常化」、さらに「リーダーの養成」を図ることにより、生徒が自らよりよい学校生活づくりに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育成する。
- (2) 「学級活動」「道徳の時間」を充実させるとともに、「学級経営」に力を入れることにより、学年・学級の一員としての自覚を高め、よりよい集団づくりに参画しようとする態度や健全な生活態度を育成する。
- (3) 「先施の心」で生徒に接し、「率先垂範」「師弟同行」に努めることにより、生徒と教職員との信頼関係を強化し、生徒が自ら「生徒心得」を自覚して規律ある学校生活を送ろうとする態度をはぐくむ。

#### 「健康で、自他の生命を大切に生徒」の育成

##### 1 健康な体づくりと 体力の向上に努める。

- (1) 保健や学級活動「適応と成長及び健康安全」の授業及び「保健だより」等の啓発活動により、生徒や家庭の健康管理と環境衛生に関する意識を高める。
- (2) 栃三小の学校栄養士と連携し、「給食だより」等による啓発活動や給食委員会の活動を通して、給食の衛生管理を徹底するとともに、食育を推進する。
- (3) 体育や運動部活動を充実させることにより、運動に親しみ、体力向上や健康維持に対する自覚を高める。

##### 2 自他の生命を尊重する心を育てる。

- (1) 教科指導はもとより、あらゆる教育活動において、目的と目標を明確にして指導・支援を充実させ、自他の生命を尊重する心を育てる。
- (2) 登下校時はもちろん、学年・学級の活動や部活動等において、交通指導及び防犯・防災指導を徹底し、交通事故をはじめ各種の事故防止に万全を期す。
- (3) 事前調査（アンケート）の結果を生かし、学期1回の教育相談を充実させることにより、生徒の悩みや不満、不安に迅速かつ適切に対応できるようにする。

